

奥出雲の未来を育む!
スポーツ少年団のチカラ

9月・11月号で紹介したスポーツ少年団の第3弾!
今回は仁多地域ホッケースポーツ少年団です。
今回も少年団の皆さんのお声をお伝えします。

仁多地域ホッケー スポーツ少年団

7年前に「仁多地域ホッケースポーツ少年団」に名称変更し、再スタートしました。子どもたちがそれぞれのペースで競技を楽しみながら、仲間とともに成長できる環境づくりを大切にしています。

●指導者 小田川悟さん

ホッケーはまず楽しむことが大切で、楽しむからこそ続けられると考えています。子どもたちが小学校から中学・高校へと次のステージに進めるよう指導し、技術だけでなく人として成長することも目標にしています。費用は貸し出しも可能で気軽に体験ができる。現在絶賛団員募集中です。興味があれば見るだけでもぜひ来てみてください。



●西村悠希さん（阿井小6年）
兄の影響で3歳からホッケーを始め、5歳から本格的に取り組んでいます。ホッケーを通して友達が増え、仲間と切磋琢磨しながら協力してゴールを決めたことが嬉しかったです。現在は最後の大会に向け、どうすれば勝てるか考えて練習中です。小学校を卒業しても続けていきたいし、日本代表になつた兄を超える選手を目指しています。

●荒木結衣さん（阿井小6年）
兄が楽しくホッケーをしていましたが、5年生から始めました。リフティングや試合がとても楽しく、百回リフティングが成功した時には、続けるようになると実感しました。試合の緊張感や仲間と協力する時間が好きで、これからももっと上手くなれるよう練習を続けていきたいです。

団員数	創部年	年会費	練習日	連絡先
26名	平成30年	1,000円	水曜(18:30 ~ 20:00) 土曜(13:30 ~ 16:00)	090-4702-6919(元山)



これからの奥出雲町の幼児教育・保育について

～幼保連携型認定こども園開設に向けて～



第3弾

A 運営者から入園に関する説明やご案内を適宜実施していく予定です。

Q 4月の開園までに実際に入園する保護者向け明会は開催されるのです?

A 広報6月号、8月号をご覧になつていな方には、併せてご覧ください。

Q 4月の開園までに実際に入園する保護者向け明会は開催されるのです?

町では令和8年4月の横田地域における幼保連携型認定こども園開設に向けて運営者等と準備を進めています。その一環として、4月に講演会、6月～7月にかけて町長との子育て意見交換会、また、様々な場面で町民の皆様への説明の場を持たせていただき、その回答を広報6月号、8月号に掲載してきました。

Q 閉園後の八川・馬木の園舎の管理はどうなるの?

A 現在、具体的な内容についてリハビリテーション学院、島根大学と検討しているところですが、作業療法の先生の知見や学生の実践の場として、子どもたちの日々の園での生活、あるいは活動の中で特徴や特性を早期に発見したり気づいたりできるようなプログラムを導入していくことを考えています。

A 八川については、認定こども園の実習教育にも活用する木育施設※へと改修をしますので、施設運営者が管理します。運営者については地域からの利用要望なども出ていますので、管理方法については地域の皆さんと協議させていただきたいと考えています。また、馬木については水辺の楽校なども活用して自然環境に触ながら感受性や好奇心を育んでいます。

Q 横田地域の子育て支援センター・放課後児童クラブの運営者はどうなるの?

A 横田地域の子育て支援センター・放課後児童クラブの運営者はどうなるの?

※「木育」とは? 子どもから大人まですべての人を対象に、木に触ることを通じて木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育むための取り組み

【お問い合わせ】 こども家庭支援課 電話:54-2504

激励式が行われました

11月10日に役場仁多庁舎で国際大会及び全国大会の激励式が行われ、選手たちが意気込みを述べました。

令和7年度

11月6日㈯、1・2年生を対象とした地元企

業ガイドンスを実施しました。毎年行われているこのガイドンスには、今年度は21社にご参加いただきました。生徒は自分が希望する3社の企業を回って説明を聞くというスタイルです。

生徒たちは、奥出雲にどんな企業があり、どのような仕事が行われているのか、自分に合った企業はあるのかを探っています。名前は聞いたことがあります。就職希望者にとっては受

知っているつもりでも実際には知らない面があつた企業制服を着させていただき雰囲気を

体験できた企業など、新しい発見の連続でした。

1・2年生が参加する形になつて2年目となりました。1年生にとって初めてのガイドンスであり、2年生は昨年に続いて聞く企業や、

今年初めて聞く企業など、自分で選んで参加することができました。就職希望者にとっては受

験先を選ぶ貴重な機会となり、進学希望者にとっても、将来地元に戻ってきた際の就職先を考えるきっかけとなりました。

何よりも、「奥出雲の企業は熱い!頑張っていい!」ということを感じられるガイドンスとなりました。生徒たちにもこの熱さが伝わったのではないかでしょうか。

ご参加いただいた企業の皆様、誠にありがとうございました。

国際大会出場
2025ユースインターナショナルグリフォンカップ
11月15日から11月25日にかけてオーストラリアバースで開催

いしづら たくま
石原 拓真さん(横田中学校3年)
日本代表に選出されたのも日ごろから支援してくださった方のおかげです。恩返しができるよう代表として誇りを持ち、一戦一戦全力で挑みます。

あべ はるの
安部 暖乃さん(仁多中学校3年)
大きな試合で不安なこともあります。精いっぱいプレーします。チームでコミュニケーションをしっかりとり、楽しみながら勝ち進みたいと思います。

きたはら あゆむ
北原 歩さん(松江北高校1年)
日本だけでなく海外の出場者が集まる大きな大会で、日々の練習の成果を発揮し、ひとつひとつフレーズに思いを込めて、豊かな歌を届けよう頑張ります。

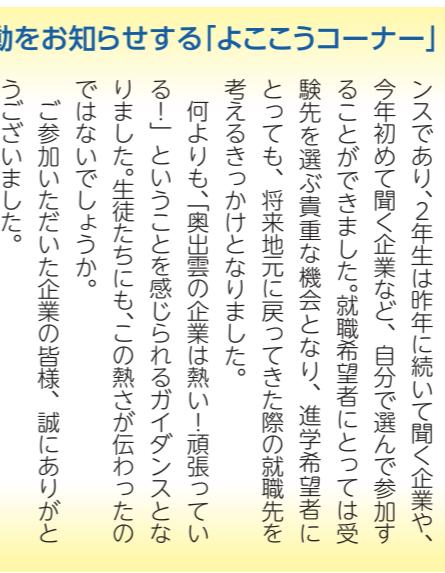
全国大会出場
第5回国際声楽コンクール東京
12月7日に東京都で開催

北原 歩さん(松江北高校1年)
日本だけでなく海外の出場者が集まる大きな大会で、日々の練習の成果を発揮し、ひとつひとつフレーズに思いを込めて、豊かな歌を届けよう頑張ります。

横田高校の活動をお知らせする「よここうコーナー」



横田高校



A 横田地域の子育て支援センター・放課後児童クラブの運営者はどうなるの?

